

山行報告 上毛三山 黒檜山 駒ヶ岳 地蔵岳

【日 程】2016 年 1 月 30 日（土） 【形式】雪山登山

【参加者】CL 内堀孝信、SL 佐藤健一・富樫富久美・田辺恭平・吉瀬英子（記録）

【天 候】1/30 雪のち曇り時々晴れ

1/30(土) 【 黒檜山（くろびさん）1827.7m・駒ヶ岳(1685m)・地蔵岳（1674m） 】

10:40 黒檜山登山口 10:40—12:00 黒檜山 12:30—13:10 駒ヶ岳 13:20—14:10 駒ヶ岳登山口

八丁峠登山口 14:40—15:15 地蔵岳 15:30—15:50 八丁峠登山口

前日から雨で、当日の天気予報では雪のち曇りの天気予報 小雨の降る早朝、千葉を出発しました。混雑が予想される関越道を避けて東北道から北関東自動車道で赤城山に向かう途中、佐野辺りから雪がちらつき始めました。佐野SAで朝食に佐野ラーメンを食し、エネルギーチャージ完了。昨日雪が降ったようで北関東自動車道周辺の里山は雪景色です。雪山が期待でそうです。ちらちら降っていた雪も止み、一般道に下り赤城山の大鳥居をくぐり雪の山道を登り大沼に出ると一面銀世界の中に赤城神社の朱色が映えてきれいでした。お天気があまり良くないためか、10時過ぎなのに駐車場に車はまばらでした。駐車場はアイスバーンでしたけれど外は温かく、身支度を整えるのがとても楽でした。



黒檜山登山口にて



黒檜山への登り

少し歩いて黒檜山登山口でアイゼンを付け佐藤SLを先頭に登り始めました。道はトレースがついていましたがフカフカ。ところどころ急登になっていました。登り始めてすぐに12本アイゼンが初めての私のアイゼンが外れてしまい、内堀CLが調節してくださり、バッチリ！アイゼンは靴と一緒に購入して、調節してもらっていても安心できないことが分かりました。40分ほど登ると大沼が眼下に見渡せる稜線に出ました。いき大沼を取り囲む外輪山を望みながら小休止。そこからは少し傾斜がきつくなっていきました。猫岩を通過。駒ヶ岳分岐を左に折れ、赤城山最高峰の黒檜山山頂に到着しました。

黒檜山の木々に霧氷が付いていて砂糖菓子のように。山頂の少し先の展望台からは360度の大パノラマで皇海山・武尊山・越後山脈・浅間山等の山々が見え、雲の切れ目から陽もさしてき明るくなりました。



黒檜山山頂にて①



黒檜山山頂にて②

黒檜山山頂に戻り、駒ヶ岳に向かうと黒檜大社があり、雪山山行に来ることができたお礼をしました。駒ヶ岳への下りは少し急で、鞍部は風が吹き抜けて寒かったのですが、昨日降った雪が風に舞ってキラキラとしてとてもとてもきれいで、ずうっとそこに居たいと思いました。



黒檜山周辺の霧氷



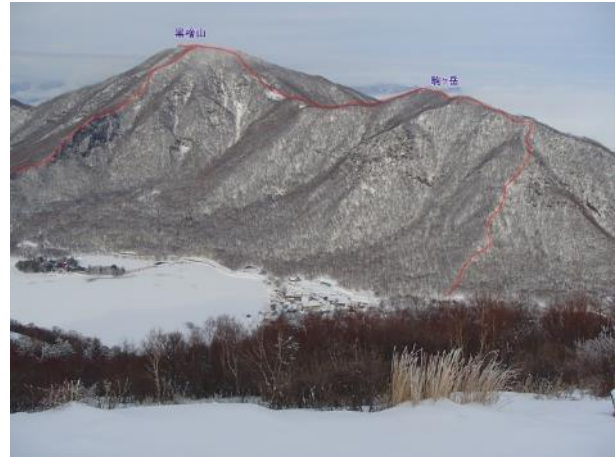
駒ヶ岳山頂にて

駒ヶ岳への登りは比較的ゆるやかで、駒ヶ岳山頂では黒檜山登山口から私たちと前後していた20代の男女3人グループが少し後から到着したので写真の撮りっこをしました。若者たちのポーズに若さが溢れていて、思わず楽しくなって皆で真似したりして。駒ヶ岳からの下りは、ところどころ急でしたが、岩も鉄製の階段も木の階段もほとんど雪に埋もれていて歩きやすかったです。

黒檜山を予定どおりの時間に下山でき、車で地蔵岳へ移動。小沼駐車場に車を止め八丁峠登山口でワカンをつけました。八丁峠わきにも駐車している車がありました。ワカン歩行も初めての私は歩き方のコツをレクチャーしていただきスタート。先頭のSLはゆったりと歩を進めています。私は斜面で滑ってしまったり、足があがらなかつたり。それでも10分ほどすると少し慣れてきて、SLの「あと少しですよ。」の言葉を聞くころには周りの景色を見る余裕も。山頂には祠があり、無雪期にはごろごろしている石も雪に埋まり、祠の傍らで腰をおろし、ゆっくり黒檜山・駒ヶ岳を眺めました。ワカンでの下りは順調で、踏み跡のない所を歩いてみたりしました。



地藏岳にて(*^。^*)



地藏岳からの黒檜山と駒ヶ岳

下山後赤城山麓富士見温泉『見晴しの湯』に立ち寄りました。程よい疲れと満腹感から、交代で運転してくださるCLとSLを残し爆睡してしまうかと思われましたが、今日の山行やいろいろな山の話に花が咲き、あっという間に千葉に到着しました。どうもありがとうございました。

吉瀬（記）